



呉 YWCA 会館の国登録有形文化財（建造物）の登録について

令和7年1月21日に文化庁に対して登録申請を行っておりました「呉 YWCA 会館」が、令和7年7月18日に開催された文化審議会文化財分科会（文化庁）において、国登録有形文化財に登録するよう答申がありました。今後、官報の告示をもって、国登録有形文化財になる見通しです。

1 呉 YWCA 会館の概要

- (1) 住 所：広島県呉市幸町 2-1
- (2) 建設年代等：昭和前期／昭和 53 年改修
- (3) 所 有 者：一般財団法人 呉 YWCA
- (4) 登 録 基 準：国土の歴史的景観に寄与しているもの
- (5) 特徴・評価：呉港東方の高台の角地に位置する YWCA の会館。敷地形状に合わせた V 字形平面で、西角隅切部に大きく窓を開けて吹き抜けのホールとし、踊場付きの階段で二階へ上る。角地に建ち、外壁を下見板張りとした洋風の外観が、地域のランドマーク的存在。

2 呉市文化財保存活用地域計画における国登録有形文化財の位置づけ

呉市文化財保存活用地域計画において、所有者等による歴史的建造物の積極的な活用を推進するため、国登録有形文化財の申請手続きを支援するための施策を実施することとしています。

3 国登録有形文化財制度について

(1) 登録制度（文化財の活用を主たる目的とする）

- ・社会的評価を受けるまもなく消滅の危機に晒されている多種多様かつ大量の近代等の文化財建造物を後世に幅広く継承していくために作られたもの。
- ・届出制と指導・助言等を基本とする緩やかな保護措置を講じるもので、従来の指定制度を補完するもの。
- ・公開活用を目的とする事業に対して国の補助を受けることができる。

(2) 指定制度（文化財の保護を主たる目的とする）

- ・「文化財保護法」による指定・・・文化財を「有形文化財」，「無形文化財」，「民俗文化財」，「記念物」，「文化的景観」，「伝統的建造物群」と定義

重要なものを国が指定・選定・登録し、重点的に保護

- ・地方公共団体の条例「文化財保護条例」による指定・・・国の指定基準に基づいて判断（広島県有形文化財，呉市有形文化財など）
- ※登録有形文化財が指定文化財となった場合は，登録抹消となる。

5 呉市内の登録有形文化財について（１２件・７月２２日時点）

区 分	登録年月日	名 称	所 在 地
国登録有形文化財	H9. 5. 7	呉市入船山記念館休憩所（旧東郷家住宅離れ）	幸町（入船山記念館）
	H9. 11. 5	観瀾閣	下蒲刈町三之瀬
	H9. 11. 5	松籟亭	下蒲刈町下島
	H10. 10. 9	呉市水道局宮原浄水場低区配水池	青山町
	H10. 10. 9	呉市水道局平原浄水場低区配水池	平原町
	H10. 10. 9	呉市水道局二河水源地取入口	大字荘山田村 （二河峡公園）
	H15. 4. 8	飛弾家住宅主屋	豊町大長
	H15. 4. 8	飛弾家住宅離れ	豊町大長
	H15. 4. 8	飛弾家住宅蔵門	豊町大長
	H15. 4. 8	飛弾家住宅蔵	豊町大長
	H15. 4. 8	飛弾家住宅観音堂	豊町大長
	H23. 10. 28	呉市入船山記念館旧高島砲台火薬庫	幸町（入船山記念館）

※この度の呉 YWCA 会館の登録により，呉市内の登録有形文化財は１３件となる見込みです。

6 添付資料

- (1) 呉 YWCA 会館に係る登録有形文化財申請資料（抜粋）
- (2) 文化庁報道発表資料

調 書

(ふりがな) 名 称	くれわいだぶりゆしーえーかいかん 呉YWCA会館	
員 数	1 棟	
所在の場所	広島県呉市幸町2番1	
時 代	不明 1930 年代中期と推測される	
登録の基準	1.国土の歴史的景観に寄与しているもの	
構造及び形式 並びに大きさ	木造鋼板葺2階建 外壁焼杉下見板張 切妻 一部寄棟 鋼板葺き 床(屋内)面積 1階 : 292.99-㎡/2階 : 287.93-㎡、建築面積 : 301.38-㎡ 桁行き 30.906m (14.544m)、梁間 7.272m	
所有者の名称	一般財団法人 呉YWCA	
所有者の住所	広島県呉市幸町3番1号	
特 徴	旧日本帝国海軍によって建てられた木造2階建ての旧日本帝国海軍関連施設。用途は軍曹品倉庫であったとされているが詳細は不明。 木造校舎のような素朴な外見ではあるが、三角地に立地する故の鋭角に位置する吹き抜けの正面階段から2階部分にかけての意匠を施した内部からすると、倉庫とは別の目的で建てられた施設だったのではないかとも思われる。 戦後、英連邦の進駐軍施設として使用・管理されていたが、1948 年4月呉基督教女子青年会(現: 呉 YWCA)の発足にあたり、建物の借用が認められ使用を開始した。英連邦軍から財務局に返還された後、1950 年に建物を、1954 年に土地の払い下げを受け現在に至る。 戦前から残る呉市のランドマークともいえる建物であると同時に、1948 年の発足以来、英連邦軍属 YWCA から学んだ女性たちの活動は連綿と続いており、戦後の女性の社会活動を象徴する施設ともいえる。 現在なお、建物は一般財団法人 呉 YWCA(2012 年法人化)の活動拠点として使用され続け、女性と子ども、障害者、社会的弱者のサポートを理念とし、教育活動やサークル活動の他、障害者の為の音訳活動、地域・子ども食堂、フードバンク、フードパントリー等の活動の場となっている。 建物の維持管理については同事務局によって行われている。	
	工事関係者	設計者及び施工者不明
	所見記入者	広島県建築士会呉支部 ヘリテージマネージャー 一般財団法人 呉 YWCA 理事 家頭 昌子
	調査担当者	広島県建築士会呉支部 ヘリテージマネージャー YA企画 山中 靖彦 第 16033 号
備 考	登記簿によると建設当時の屋根はセメント瓦葺となっているが、1977 年雨漏りが始まり、1978 年 10 月鋼板で屋根工事を施工	



0 1 建物外観・南面（南南東から）



0 2 正面入口（南から）



0 3 建物外観・南西面（南西から）



0 4 建物屈曲部（南から）



0 5 建物外観・遠景（北から）



0 6 建物外観・北面（北から）



0 7 建物外観・北西面（西から）



0 8 2階ロビー



0 9 2階ロビー天井



1 0 1階階段（1階から）



1 1 1階階段・ロビー（踊り場から）



1 2 階段踊り場（2階から）



1 3 1 階ロビー



1 4 1 階玄関上部の合成梁



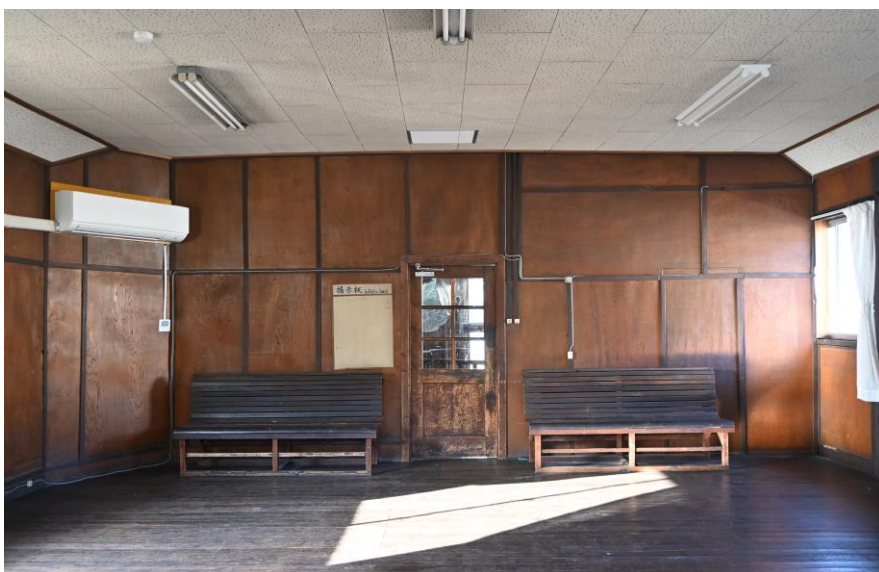
1 5 1 階玄関（ロビーから）



1 6 1 階ホール



1 7 2 階旧礼拝堂（北から）



1 8 2 階旧礼拝堂（南から）



19 2階廊下（ロビーから）



20 1階ロビー杉綾張床

扱 い

ラテ：令和7年7月18日 17：00 解禁

新聞：令和7年7月19日 朝刊

報道発表



令和7年7月18日

文化審議会の答申（登録有形文化財（建造物）の登録）

文化審議会（会長 しまたに ひろゆき 島谷 弘幸）は、令和7年7月18日（金）に開催された同審議会文化財分科会の審議・議決を経て、新たに130件の建造物を登録するよう文部科学大臣に答申しました。

この結果、官報告示を経て、登録有形文化財（建造物）は14,630件となる予定です。

1. 今回答申された登録有形文化財（建造物）の概要

	新規登録	累 計
登 録 件 数	130	14,630
関係都道府県数	27	47
関係市町村(区)数	48	1,036

○時 代 別 (件)

	江戸以前	明 治	大 正	昭 和			計
				前期 (S元～ S20)	中期 (S21～ S40)	後期 (S41～ S64)	
新規登録	33	29	14	23	27	4	130
累 計	2,631	4,566	2,935	3,726	693	79	14,630

○種 別 (件)

	産 業			交通	官公 庁舎	学校	生活 関連	文化 福祉	住宅	宗教	治山 治水	他	計
	1次	2次	3次										
新 規	5	7	17	1	0	1	1	5	46	46	0	1	130
累 計	141	1,507	1,805	528	253	459	337	518	6,554	2,211	225	92	14,630

(件)

	建 築 物	土木構造物	その他の工作物	計
新規登録	104	1	25	130
累 計	11,644	679	2,307	14,630

今回の答申における主なもの

①越屋根が目を惹く現役の絨毯製造工場

017～020 オリエンタルカーペット株式会社マーセライズ棟ほか3棟

山形県山辺町 昭和25年／昭和中期増築

市街地中心部に位置する絨毯製造工場の艶
出加工（マーセライズ加工）や洗濯工程を担う
棟。半切妻造り鉄板葺き屋根の棟頂部に越屋
根を設け、外壁に連続窓を配した開放的なつ
くり。敷地内の他施設と統一的な外観で、地域
景観を形成する現役の工場。



②黒部川の深い渓谷にかかる鉄橋

034 旧山彦橋 富山県黒部市 大正13年／平成13年改修

宇奈月温泉に位置し、黒部川に架かる旧鉄
道橋。深い渓谷に架かるスパン69メートルの
鋼製スパンドレルブレーストアーチ橋で、同
形式の橋梁として我が国最古になる。黒部川
の電源開発を支えた大規模な橋梁で現在は人
道橋として活用。



③善光寺の北方に建つ独創的な形式の納骨堂

047 善光寺雲上殿本殿 長野県長野市 昭和24年／昭和63年頃・平成24年改修

善光寺の中軸線の北方に位置し、大峰山の
南麓に建つ納骨堂。設計は沖津清。中央に鉄
骨鉄筋コンクリート造の多宝塔を配し、東西
に翼廊を延ばした独創的な形式とする。コン
クリート造形で寺院建築の細部意匠まで表現
した上質なつくりの納骨堂。



④古典様式を纏った美しい姿の旧配水塔

059 名古屋市演劇練習館（旧稲葉地配水塔）

愛知県名古屋市 昭和12年／昭和40年・平成7年改修

J R名古屋駅西方の稲葉地公園内に位置する旧配水塔。設計は名古屋市水道局。基壇上に建つ円筒形の構造体の中央と外周に円柱を立て、上部の巨大な貯水槽を支持。古代の円形神殿を想起させる美しい姿が、地域のランドマーク的存在。現在は市の演劇練習用施設として活用。



⑤左官職人の情熱を伝える洋館付き住宅

081 大矢家住宅主屋 大阪府交野市 昭和14年頃／平成15年改修

J R里田駅南東の高台に位置する実業家の旧別荘。洋館南面に設ける玄関ポーチの柱はモルタル塗りの擬木仕上とし、上部のペディメントに漆喰レリーフを飾る。和館は玄関や座敷など数寄屋風意匠とし、内外ともに凝ったつくりの上質な住宅。



⑥村野藤吾による水平性を強調したクラブハウス

086 宝塚ゴルフ倶楽部クラブハウス

兵庫県宝塚市 昭和34年／昭和47年・平成8年増築、同24年改修

逆瀬川沿いに位置するゴルフ場のクラブハウス。設計は村野藤吾を中心とする建設委員会。斜面地に建つ東西に長い平面で、地上3階地下1階建てとする。外周に大きく軒を張出し、水平性を強調しつつ、塔屋と組み合わせた外観が周囲の環境と調和を生む。



⑦飛鳥地域に佇む洗練された和風意匠の資料館

089 奈良文化財研究所飛鳥資料館本館 奈良県明日香村 昭和49年／昭和50年増築

明日香村北部にある文化財展示施設。設計は谷口吉郎。長大な切妻造りの東西棟は、白色の外壁に格子窓を整然と並べ、周囲に高欄付きの縁を廻らす。洗練された和風の外観が飛鳥地域の歴史的な景観と巧みに調和する谷口晩期の作品。



提供：奈良文化財研究所

⑧角地に建つ洋風の外観が地域のランドマーク的存在

102 呉YWCA会館 広島県呉市 昭和前期／昭和53年改修

呉港東方の高台の角地に位置するYWCAの会館。敷地形状に合わせたV字形平面で、西角隅切部に大きく窓を開けて吹き抜けのホールとし、踊場付きの階段で二階へ上る。角地に建ち、外壁を下見板張りとした洋風の外観が、地域のランドマーク的存在。



⑨高い鐘塔が印象的な外観のハンセン病療養施設

129 菊池恵楓園旧事務本館 熊本県合志市 昭和26年／令和4年改修

黒石原の高原地帯に位置するハンセン病療養施設の旧事務本館。設計施工は竹中工務店。2階建て鉄筋コンクリート造で正面中央に車寄を付し、希望の塔と呼ばれる鐘塔を屹立させる。水平な軒と鐘塔の交差が外観の意匠を印象づける。現在は歴史資料館として活用。



<担当> 文化庁文化財第二課 電話：075-451-4111（代表）
 課長 田中 禎彦
 課長補佐 上田 和輝
 登録部門 清永 洋平、井東 大典、小野寺 洋介（内線 9755）
 審議会係 今村 結記、市橋 弥生（内線 9756）